

\*この事例集は、景観まちづくり教育ホームページの「景観まちづくり講座事例集」(全 52 事例)のうち、主として「参加者を募集して行う」方法で実施している事例を収録したものです。

### 収録事例リスト

●良好な景観や景観まちづくりに触れられる機会を提供する

◆景観ツアー・先進事例視察

- 22 うつのみや百景バスツアー [栃木県宇都宮市]
- 23 まちづくり住民見学会 [茨城県土浦市]
- 24 まちなみウォッチング [佐賀県佐賀市]

◆講演会・シンポジウム

- 25 景観セミナー [福島県いわき市]
- 26 地域まちづくり塾 [千葉県松戸市]

●景観や景観まちづくりの考え方や手法を学んでもらう

◆まちの魅力・課題発見ワークショップ

- 27 まち並みウォッチング [東京都文京区]
- 28 いせさき風景探偵団 [群馬県伊勢崎市]
- 29 親子景観セミナー「親子で探検・鎌倉の魅力」[神奈川県鎌倉市]
- 30 こどもまち並み観察隊 [群馬県桐生市]
- 31 ジュニア景観士講座「子どもまちなみ探検隊」[北海道千歳市]
- 32 ふじさわこどもまちづくり会議 [ふじさわこどもまちづくり会議実行委員会]

◆景観まちづくり講座

- 38 景観形成のための街づくり勉強会 [群馬県富岡市]
- 39 西宮まちなみ発見クラブ [兵庫県西宮市]

◆色彩講座

- 40 建物の色がつくる美しい景観教室 [神奈川県横須賀市]
- 41 色彩と景観の関係を学ぶ「色彩講座」[長野県上田市]
- 42 環境色彩セミナー [青森県]

●景観まちづくりに取り組みたい人を支援し活動機会を提供する

◆リーダー養成講座

- 50 地域景観づくりリーダー養成事業「景観人講座」[青森県]
- 51 街づくり学校 [神奈川県大和市]
- 52 まちづくりリーダー養成講座 [静岡県]

# 百景を巡るバスツアー！

No.22

うつのみや百景バスツアー 栃木県宇都宮市



- ❖市の職員やボランティアの方の案内で、市の百景を巡る「うつのみや百景バスツアー」。親子でも、夫婦でも、友達同士でも、市民の誰もが気軽に参加できます。
- ❖参加者は、史跡や歴史的建造物、地域の自然など、様々な景観を見て回ります。見学先では、案内の方による解説もあり、景観に対する理解が深まります。
- ❖1日のツアーが終わる頃には、地域の景観の魅力を再認識していることでしょう。

## 詳細

○対象：市民（定員 20 名）

○目的：うつのみや百景のバスツアーを実施することで、市民に市の美しい景観を再認識してもらい、郷土愛を醸成するとともに、「景観づくり」の大切さを理解してもらうことで景観に対する意識を啓発する。

○内容・特徴：うつのみや百景を巡るバスツアー。見学先では、市の職員やボランティア等により、見学対象の景観に関する歴史等や、景観づくりの取り組みの解説が行われる。

### ○実施概要

- ・日時：年2回（春と夏）開催、各回とも9時から16時程度。
- ・費用：無料（ただし、資料館等の有料施設の入館料と旅行傷害保険料は参加者が負担）。
- ・募集方法：市広報誌で募集し、抽選により参加者を決定する。
- ・実施体制：市有バスを使用する。市職員3名程度が引率し、現地では、市職員やボランティア等が解説を行う。
- ・教材等：見学対象の写真や解説等を掲載した「しおり」を配布。

### ○実施例（平成19年度の例）

#### ◇うつのみや百景新緑バスツアー

- ・実施日：平成19年5月25日（金）
- ・見学場所（見学時間）：①宇都宮城跡公園（50分）/②栃木県中央公園（30分）/③長岡の百穴古墳（20分）/④飛山城跡（90分）/⑤清原工業団地のケヤキ並木（車中見学）/⑥栃木県立農業大学校内にあるエンタイ壕（30分）/⑦田川の遊歩道散策から旧篠原家住宅（55分）

#### ◇うつのみや百景探検バスツアー

- ・実施日：平成19年8月24日（金）
- ・見学場所（見学時間）：①宇都宮城跡公園（50分）/②野沢町にある竹林の風景（30分）/③智賀都神社（車中見学）/④二宮堰と篠井富屋連峰（20分）/⑤ろまんちっく村（100分）/⑥大谷石が採掘された岩肌（10分）/⑦大谷資料館地下の採掘跡（30分）/⑧大谷景観公園周辺の姿川と岩肌、平和観音と大谷公園（40分）/⑨松が峰カトリック教会（45分）



参加者に配布される「しおり」の表紙(左)と本文(右)の例

### \*うつのみや百景\*

- ・市の魅力ある風景を市民の協力により再発見し、「市民による景観づくり」の意識の高揚を図ることを目的として選定された。





- ❖歴史的街並み修景に取り組む地区の住民と行政職員が、景観まちづくりの先進都市と一緒に視察する「まちづくり住民見学会」。
- ❖視察先の行政職員や、まちづくりに取り組む市民組織のメンバーの話を聞いた後、実際に町並みの見学を行います。
- ❖行政職員と住民と一緒に視察を行うことで、景観まちづくりのイメージを共有することができます。視察の内容は「かわら版」により住民に発信されます。

詳細

○対象：歴史的町並み修景基本方針策定調査の対象地区が含まれる8町内の住民  
(定員30名程度)

○目的：土浦城址周辺地区では、歴史的資源を活かし、地域住民と市との協働によるまちづくりを進めるために、まちづくり住民見学会を実施した。

○内容・特徴：景観まちづくりの先進都市を、行政職員と住民と一緒に視察し、まちづくりに携わる行政担当者や、市民組織などからレクチャーを受ける。

○実施概要

- ・日時：各回とも土曜日又は日曜日に開催、時間は見学先により異なる
- ・費用：無料(ただし、昼食費や入館料等は各自が負担)
- ・募集方法：対象地区の全戸(約3,200戸)に「かわら版」を配布し募集
- ・実施体制：市職員5人程度が事務局として引率、視察先までの交通は市所有の中型バスを使用
- ・教材等：見学対象地の観光案内や観光マップ等の資料を配付

○実施実績(※現在は実施されていない)

回	実施年度	視察先
1	平成12年度	埼玉県川越市
2	平成14年度	栃木県足利市
3	平成15年度	千葉県佐原市
4	平成16年度	栃木県栃木市



研修の様子

○当日のスケジュール例(第3回の場合)

7:30	出発(車中で佐原市に関するビデオ鑑賞)
9:00	佐原着、香取神宮見学
10:30	研修(佐原市職員及びまちづくり住民組織の方の話)
12:15	自由昼食
13:30	町並み見学(ボランティアによる案内又は自由見学)
15:30	佐原発(車中で見学会の感想や土浦のまちづくり等に関するアンケートを実施)
17:00	土浦帰着

○その他

- ・「町並みまちづくり かわら版」を発行し、視察の報告や参加者募集の案内等を行っていた。



『町並みまちづくりかわら版』



- ❖景観賞受賞作品や都市景観重要建築物等を親子でバス見学する「まちなみウォッチング」。
- ❖市の職員の方の解説で、普段はなかなか知ることの出来ない、建物の歴史や由来、先人の工夫も学べます。市内に残る貴重な建築物や、生活に豊かさを与えてくれる景観を見学しているうちに、親子の会話も弾んできます。
- ❖参加した子どもたちの感想文は、都市景観のイベントで展示・発表されます。将来を担う子どもの言葉で、大人の意識も高まります。

詳細

- 対象：小学校5、6年生（保護者の方の同伴が必要）
- 目的：都市景観に対する市民の意識の向上を図り、関心を高めるためには、子どもの頃からの意識啓発が重要であることから、家庭での都市景観についての会話のきっかけとなる材料や機会を提供する。併せて、都市景観に対する大人の関心も高め、意識の向上へつなげる。

○内容・特徴：「佐賀市景観賞」受賞作品及び「都市景観重要建築物等」を親子でバス見学する。参加した子どもには感想文の提出が依頼され、都市景観事業イベントで展示等が行われる。

○実施概要（＊現在は実施されていない）

- ・日時：平成16年及び17年の8月に実施。1回2時間程度。
- ・費用：無料
- ・募集方法：学校を通して募集する他、市報に案内を掲載。
- ・実施体制：市のマイクロバスを使用する。市職員2人程度と古民家に詳しい方1人の計3人が引率にあたる。
- ・教材等：見学対象の建物等について解説した資料と、建築に関する用語を解説した『ことばの解説』を配布。



参加者に配布される、見学対象を解説した資料（左）と『ことばの解説』（右）

○全体の流れ

①まちなみウォッチングの実施

- ・「佐賀市景観賞」の受賞作品と、市指定の「都市景観重要建築物等」の見学を行う（4ヶ所程度）。

②感想文の提出

- ・参加した子どもたちに、期日までに、原稿用紙2枚程度の感想文を書いてもらい、各小学校に提出してもらう。

③感想文の提出・優秀作品の発表等

- ・翌年に開催する都市景観事業イベントで、感想文の展示を行う。優秀な作品は、子どもに発表等をしてもらう。
- ・都市景観に対する子どもたちの感想を、大人に知ってもらうことにより、大人に対する意識啓発とする。

- 佐賀市景観賞：市内にある建築物・工作物・まちの小さな構造物・樹木・植栽などで、都市で生活する中で都市景観の魅力を向上させたり、都市の生活を豊にするようなものを表彰する制度。平成9年度から実施。
- 佐賀市都市景観重要建築物等：歴史的にも景観的にも優れた建築物を指定し、修繕のための経費の一部を助成しながら、所有者と一緒にすぐれた景観を守るための制度。平成14年度から実施。





- ❖年に1回開催される「景観セミナー」。
- ❖専門家からの話に加えて、市民の中から選ばれた景観サポーターの研究報告も合わせて行われます。景観サポーターは、身の回りの景観について、テーマを設けて調査研究を行います。
- ❖そして、このセミナーを聴いた人の中から次の景観サポーターとなって、景観を考え、景観リーダーとなってくれる人材が生まれてくることを目指します。

詳細

○対象：市民

○目的：セミナー参加者の中から、次年度以降の景観推進員の発掘（景観リーダーの育成）につなげる。

○内容・特徴：専門家による基調講演と、景観推進員（景観サポーター）の研究活動報告会を実施する。

○実施概要：

- ・開始年：平成13年
- ・開催頻度：年1回（3月の土曜日または日曜日、午後半日程度）
- ・募集方法：新聞、広報誌等のメディアを活用し、広く参加を呼びかけている。
- ・形式：基調講演＋景観サポーターの活動報告



平成18年度 景観セミナーの様子

●景観推進員（景観サポーター）

- ・景観に興味・関心のある人を公募で募り、身の回りの景観に関する情報について、各自テーマを設定し、調査・研究を行うボランティア。
- ・平成18年度は、4名の景観サポーターが現地調査や定期的なグループミーティングを実施。

平成18年度研究内容は以下の通り

- 中心市街地における緑被地の維持・管理と評価に関する研究
- 街区公園の構造と評価に関する研究
- イメージマップにみる地域の一体制に関する研究
- 快適な「景観」のあり方について



❖ 「景観」や「景観まちづくり」に対して、景観そのものからのアプローチだけでなく、緑やアート、広告など、様々なテーマでシンポジウムや講演会を開催している「地域まちづくり塾」。

❖ 大学教授や各分野の専門家を招いて、話を聞きます。

❖ 景観を幅広く捉え、テーマとして取り上げることで、市民がさまざまな角度から景観に触れるきっかけをつくることができます。

詳細

○対象；市民

○目的：景観について、市民が様々な角度からアプローチするきっかけとなる。

○内容・特徴：「景観」という視点での様々なテーマについてシンポジウムや講演会を実施する。

○実施概要：

- ・ 開始年度：平成 9 年度。
- ・ 開催頻度：年 1～2 回。
- ・ 募集方法：広報誌・ホームページ・募集ポスター・チラシ。
- ・ 講師：大学教授や景観に関わる分野の専門家。
- ・ 参加費：無料。
- ・ テーマ例：「まちなみと広告」（平成 13 年度）、「都市の緑と景観づくり」（平成 15 年度）。

●平成 17 年度概要

- ・ 日程：平成 17 年 9 月 24 日
- ・ 時間：14：00～16：00
- ・ テーマ：身近なアートで心豊かなまちづくり～「記憶」そして「所在」・アートが媒体となり新たなコミュニティの場を創造する～
- ・ 定員：120 名



●平成 18 年度概要

- ・ 日程：平成 19 年 3 月 24 日
  - ・ 時間：13：30～15：30
  - ・ テーマ：景観のススめ～よい景観がもたらすもの～
  - ・ 定員：50 名
- \*ポストイットを利用して、参加者の景観形成に対する意見をその場で紹介。





- ❖景観の専門家と一緒にまちを歩きながら、区民が自分たちのまちの景観をチェックする「まち並みウォッチング」。
- ❖普段見慣れたまち並みも、意識して見直してみると、気になる点がたくさんあります。‘わがまち’の理想の姿を思い浮かべながら景観を評価していくうちに、高い景観意識が芽生えていきます。
- ❖そんな参加者から出された意見には、今後の景観づくりのヒントが詰まっています。

詳細

○対象：区内在住・在勤・在学者（定員 30 名）

○目的：区民の目線で景観を評価してもらうことで、区民が景観について考えるきっかけとすると共に、行政は、参加者の意見や要望を今後の景観施策の参考にする。

○内容・特徴：参加者は、講師の説明を聞きながら、定められたルート歩き、与えられた評価項目に沿ってまちの景観を評価する。過去のチェックポイント例は以下の通り。

- ・平成 18 年度：「周辺との調和」をキーワードに、橋や橋からの眺望、道路舗装のデザインや歩きやすさ、ビル壁面を利用した広告デザイン等を、参加者が評価する。
- ・平成 19 年度：区の「景観事前協議制度」の対象となった中高層建築物等を見ながら、外壁の色や植栽、駐車場やゴミ集積所の作り方等について、参加者が評価する。

○実施概要

- ・日時：毎年 1 回、5 月の日曜日の午前 9 時から正午
- ・場所：区内の 3km 程度のコース
- ・参加費用：無料
- ・実施体制：講師 1 名、行政職員 2～3 名
- ・教材等：ルートやチェック地点の写真、評価項目をまとめた冊子と、評価を記入するチェックシートを配布



配布資料



まち並みウォッチングの様子

○当日のスケジュール概要

9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集合</li> <li>・ 文京区挨拶</li> <li>・ 講師挨拶</li> <li>・ コース及びチェックシートの記入方法についての説明</li> </ul>
9:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出発</li> </ul>
11:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文京区挨拶</li> <li>・ 講師挨拶</li> <li>・ チェックシート回収</li> </ul>
12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解散</li> </ul>

(評価項目の例)

- 交差点周辺の建物は、高さや色彩などの調和がとれているか？
- 周辺のまち並みと新築建物の高さや外観は調和しているか？
- 広告物の大きさ、色彩は、建物と調和しているか？
- 駐車場、ゴミ集積所などは見苦しくない工夫がされているか？
- 周辺のまち並みと歩道舗装のデザインは調和しているか？
- 街路灯のデザインは境界のイメージと調和しているか？

参加者は、各チェック地点で、このような評価項目について、  
[とても良い/良い/普通/悪い/とても悪い]の5段階で評価する。

# 風景マップの作成を通じて美しいまちの実現を考える！

No.28

いせさき風景探偵団 群馬県伊勢崎市



❖良い風景や気になる風景を探しながら、市民の視点から今後の景観まちづくりについて考える「いせさき風景探偵団」。

❖参加者は、まちの風景について情報交換や意見交換をしながら、まちの魅力を集めた「風景マップ」を作成します。また、目指す風景の実現に向けて、行政と事業者、市民の役割分担についても考えます。

❖参加した市民の中から、景観まちづくりのリーダーが生まれることが期待されます。

## 詳細

○対象：市民

○目的：市民の視点から、「守っていききたい風景・景色」や「良好な景観づくりのために必要なこと」を検討する。検討結果は、今後の景観まちづくりに活用していく。

○内容・特徴：公募で集まった市民メンバーが、まち見学や意見交換を行いながら、良い風景および良くない風景を抽出し、「風景マップ」を作成する。それを元に、今後どのような風景や景色にしたいか、どのような取り組みをしていくべきかを考え、提案する。

### ○実施概要

- ・ 日時：平成17年9月から平成18年1月までに計6回開催  
各回とも土曜日の13時開始、2時から2時間半程度
- ・ 場所：いせさき市民のもり公園管理事務所会議室
- ・ 参加費用：無料
- ・ 募集方法：市広報誌やHPで募集
- ・ 実施体制：専門家の講師3名、市職員5名程度
- ・ 教材：市内の地図や写真、景観法の資料等を配布



作成された「風景マップ」：眺め・眺望ポイントや、まちなみポイント等が記されている



活動の様子（左、中）と、講演の様子（右）

### ○全体の流れと各回の概要

現況確認		取り組みの方向の検討		取り組みと役割分担の検討	
第1回 (9/3)	第2回 (9/17)	第3回 (10/15)	第4回 (11/12)	第5回 (12/10)	第6回 (1/28)
○市内の良い風景・良くないと感じる風景について意見交換	○市内風景見学会(特徴的なポイントを互いに紹介する)	○残したい風景の確認 ○景観まちづくりの方向や取り組みについて意見交換	○市民団体の講演 ○景観まちづくりの取組と、市民・行政等の役割分担について意見交換	○残したい風景の確認 ○景観まちづくりの取組等の確認	○報告書提出 ○景観プランナーの講演



# ビンゴゲームでまちの景観探し！

No.29

親子景観セミナー「親子で探検・鎌倉の魅力」

神奈川県鎌倉市



- ❖ビンゴゲームを楽しみながら、親子でまちの景観を探して歩く「親子景観セミナー」。
- ❖「自然の音」、「丸い石」、「石垣」、「平屋建て」など、与えられたキーワードにぴったりの景観や景観要素を探して歩きます。夢中でゲームを楽しみながら、普段とはちょっと違った視点でまちを観察しているうちに、まちの魅力に気がつきます。
- ❖まちの景観について、親子の会話も弾んできます。

## 詳細

○対象：市内の小学校の3～6年生の児童とその保護者（定員30組）

○目的：将来のまちづくり、景観づくりの担い手となる子どもたちとその保護者を対象に、まちの個性をつくり出している風景や建物を見学してもらうことで、景観に対する関心を高める。

○内容・特徴：景観上重要な建物やまちの歴史について、職員が説明を加えながらまち歩きを行う。一つのルートを往復するコース設定になっており、行きは「自然景観」をテーマに、帰りは「人工景観」をテーマに、「しぜんの音」、「木の実」、「平屋だて」、「石がき」等を探す「けいかんビンゴゲーム」に挑戦してもらいながらまち歩きを行う。

## ○実施概要

- ・日時：毎年1回開催（11月）、10時から12時
- ・場所：市内の約3kmのコース
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市内の小学校に案内を配布、市広報誌にも案内を掲載
- ・実施体制：行政職員6名
- ・教材等：参加者には、まち歩きのコース紹介資料、ビンゴゲームで使用するシート、参加賞の他、持ち帰って読んでもらうための、市の景観施策を紹介した資料を配付。



「けいかんビンゴゲーム」のシート：上が自然景観、下が人工景観。中央のマスには、参加者が見つけた「たいせつなもの」、「すきなふうけい」を記入する

## ○当日のスケジュール（例）



「旧華頂宮邸」前に集合。スケジュールや「ビンゴゲーム」のルール等を説明したら、まち歩きに出発。



職員の説明を聞きながら、まち歩き。ビンゴゲームを楽しみながら、周囲の景観に気を配ります。



「旧華頂宮邸」に戻ってきたら、自分が見つけた「大切なもの」、「好きな風景」をポストイットに記入して提出し、「旧華頂宮邸」を見学。その後、みんなの「大切なもの」、「好きな風景」を発表し、参加賞を渡して解散。

# こどもの視点でまち並みレポート！

No.30

こどもまち並み観察隊 群馬県桐生市



❖子どもたちが、カメラを手にまちを自由に歩き、独自の視点でまち並みについてレポートする「こどもまち並み観察隊」。

❖夏休み期間中、普段はなかなか訪れない地域まで足を伸ばし、まちをじっくり観察すると、今まで気がつかなかったまちの魅力を発見するきっかけになります。

❖子どもたちが悪戦苦闘してまとめたレポートは、大人にとっても、まち並みを見直すきっかけになります。

## 詳細

○対象：市内の小学校に通う5、6年生（定員30名程度）

○目的：明日のまちを担う子どもたちに対して、都市景観への関心と理解を図ると共に、子どもたちの視線から見たまち並みの「良いところ」、「好きなどころ」等を公表することで、広く市民の都市景観形成への理解と協力を推進する。

○内容・特徴：小学校5、6年生が、2～3名1班で「こどもまち並み観察隊」を結成する。隊員の子どもたちは、夏休み期間中にまち観察を行い、支給された使い捨てカメラでまちの「良いところ」や「好きなどころ」等の景観を撮影し、感想や意見を加えてレポートを作成する。活動成果は、市役所玄関ロビーで市民に公表される。

### ○実施概要

- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市広報誌、新聞紙面に募集案内掲載
- ・実施体制：市職員の他、活動成果のまとめの際には、地元学生がアドバイザーを務める
- ・教材等：参加者には使い捨てカメラを支給



観察活動の様子



活動成果のまとめ・レポート作成の様子

### ○実施スケジュール（平成18年度の例）

月日	事項（場所）
6/1～6/30	隊員募集
7/24	参加者説明会（市役所会議室）
7/24～8/7	観察活動期間
8/7	活動成果のまとめ、レポート作成（市役所会議室）
8/16～8/31	第1回展示会（「有鄰館・塩蔵」多目的スペース）
10/2～10/13	第2回展示会（市役所玄関ロビー）



活動成果の例



展示会の様子

# 歩いて、撮って、子どもまちなみ探検隊！

No.31

ジュニア景観士講座「子どもまちなみ探検隊」

北海道千歳市



- ❖子どもたちがまちを探検し、まちの特徴を探して歩く「こどもまちなみ探検隊」。
- ❖夏休みの2日間、子どもたちは一人ひとりがカメラを持って、自分の住むまちを探検します。まち並みを観察したり、気付いた点をマップにまとめたりすることで、景観の美しさやまちづくりの楽しさを知り、周りの景観を意識する心が育まれます。
- ❖修了者には「ジュニア景観士」の称号が与えられます。

## 詳細

- 対象：市内の小学校4～6年生（定員20名程度）。
- 目的：タウンウォッチングやまちづくりワークショップへの参加を通じて、都市景観の大切さやまちづくりに参加する意義を理解してもらい、景観形成に対する意識の高揚と公共心の育成を図る。

○内容・特徴：子どもたちは、市の景観アドバイザーの指導のもと、カメラを持ってまちなみ探検をする。その後、探検で感じたことやまちの特徴などを「まちなみマップ」にまとめ、発表会を行う。講座修了者には「ジュニア景観士」の認定証が発行される。成果物は、後日、市役所ロビーで展示される。

### ○実施概要

- ・日時：夏休み期間中の2日間、9時半から15時
- ・場所：市役所及びその周辺
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市広報誌やHPで募集
- ・実施体制：市景観アドバイザー2名、市職員5名程度
- ・教材等：参加者には使い捨てカメラを支給



まち観察の様子



「まちなみマップ」作成の様子



発表会の様子



### ○当日のスケジュール（平成18年度の例）

#### 【1日目】

9:30～10:00	開会式・作業説明
10:00～10:15	移動
10:15～11:45	駅から市役所の周辺を観察
11:45～12:45	昼食
12:45～15:00	個人でまちなみマップ作成

#### 【2日目】

9:50～11:30	川沿いの遊歩道の観察、河川事務所展望台から観察
11:30～12:30	昼食
12:30～14:00	グループでまちなみマップ作成
14:00～15:00	発表会・修了式



「まちなみマップ」の作品例

# 理想のまちを巨大な模型で表現！

No.32

ふじさわこどもまちづくり会議

ふじさわこどもまちづくり会議実行委員会



❖子どもたちが2日間をかけて、将来住んでみたい理想のまちを考える「ふじさわこどもまちづくり会議」。

❖子どもたちは、まちを歩いて良いところや問題点を探したり、地域の大人からまちの歴史の話の聞いたりしながら、未来のまちの姿を話し合い、大きな模型で表現します。

❖みんなで力を合わせてやり遂げた楽しい思い出と共に、まち並みやまちづくりに興味を持つきっかけとなります。

## 詳細

○対象：市内在住の小学生、中学生（定員30名程度）

○目的：未来を託す子どもたちに、自分たちの生活するまちの成り立ちと、まちづくりとは何かを考えるきっかけを提供することによって、自分たちの住むまちについて興味を持ってもらう。

○内容・特徴：子どもたちは、クイズ形式のチェック項目に沿ってタウンウォッチングを行い、身近なまちの自然環境や街並みを体感する。その後、グループディスカッションなどを通じてまちの良いところや悪いところを話し合い、自分たちが住みたい未来のまちの姿を考え、都市計画模型（大きさ3畳程度、縮尺1/500）を製作して提案する。毎年1回、市内の1地区で開催され、平成19年度で10回目を迎えた。

### ○実施概要

- ・日時：11月の土日の2日間、9時半から16時
- ・場所：市役所会議室などの、地域の公共施設で開催
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：HPで募集する他、学校を通じて案内を配布
- ・実施体制：参加する子どもとほぼ同数の、社会人及び学生がボランティアスタッフとして参加する
- ・教材等：まちや街並みに関するチェック項目や、地図、昔の写真等が掲載された『探検手帳』を配布する
- ・模型材料：段ボールや色紙等を用意する他、参加者が家庭の不要品（プラスチック容器等）を持参する



こどもまちづくり会議：タウンウォッチングで感じた点をグループで話し合い、結果を発表する



模型製作：駅前、自然、建物という役割分担に沿って、スタッフの助けを借りながら模型を製作する



模型を使ったワークショップ：製作途中の模型を並べ、目当たりや住み心地などの視点を投げかけながら、子どもの意見で、建物の配置などを決めていく



完成した模型：1.8m×3.3m程の大きさ

### ○当日のスケジュール概要

1 日 目	9:30～10:00	自己紹介・親睦会
	10:00～12:30	タウンウォッチング
	13:10～15:00	こどもまちづくり会議（タウンウォッチングを踏まえ、まちづくりのアイデアを話し合い）
	15:00～16:00	模型製作
2 日 目	9:30～15:00	模型製作・ワークショップ（途中で3回、制作中の模型を見ながら、全体の配置、不足しているものなどを話し合う）
	15:00～16:15	こども会議（完成模型を見ながら意見交換）

# 世界遺産登録を目指した景観づくり勉強会！

No.38

景観形成のための街づくり勉強会 群馬県富岡市



❖まちの歴史的遺産を世界遺産に登録することを目標に、周辺の景観のあり方を検討する「街づくり勉強会」。

❖まちの歴史や景観形成についての勉強会や、歴史的遺産を活用したまちづくりの先進地の視察等を通じて、「わがまち」の景観の、目標像が見えてきます。

❖世界に誇れるまちづくりを目指して、少しずつ、しかし確実に、景観に対する意識が育まれていきます。

## 詳細

○対象：市内外の住民

○目的：歴史的遺産を活用したまちづくりを進めるために、「旧官営富岡製糸場」の世界遺産登録を目標に、周辺部の景観形成について学習する。

○内容・特徴：講演会や先進地視察等を通じて、「旧官営富岡製糸場」の歴史的・文化的な価値や、歴史的遺産の活用方法、景観形成について勉強する。

## ○実施概要

- ・ 日時：毎月1回程度開催
- ・ 場所：商工会館、その他
- ・ 参加費用：無料
- ・ 募集方法：市広報誌やHPで募集
- ・ 実施体制：周辺地区の区長や商店街、各種団体の代表者で運営委員会を設置し、勉強会等を開催。



講演会の様子



先進地視察の様子

## ○スケジュール

日時	内容
平成17年7月	第1回勉強会「富岡町の生い立ちと生糸産業」
8月	第2回勉強会「景観法とは」
9月	先進地視察（千葉県佐原市）
12月	第3回勉強会「歴史的景観を活かしたまちづくり」
平成18年3月	第4回勉強会「歴史的遺産と景観まちづくり」
	第5回勉強会「富岡市の街並みまちづくり」



試験的に作成された板塀

## ○関連する活動

- ・ 景観形成に向けた試験的作業「板塀作り」：街中に古くから残る住宅の特徴である板塀を試験的に作成し、今後の景観形成の参考にした。
- ・ 街並み景観シミュレーションの作成：現在の街並みを基に、電線類の地中化や道路舗装の変更、沿道建物の意匠変更等を模擬実験することで、「良い景観」「悪い景観」を考える。

# 「まちなみ発見クラブ」メンバーがまちの景観情報を発信！

No.39

西宮まちなみ発見クラブ 兵庫県西宮市



❖セミナーでの学習や、まち並みの観察活動等、景観に関する各種の活動に取り組む「まちなみ発見クラブ」。

❖専門家による講義で景観の考え方や知識を身につけ、それを元に身近なまち並みを見直してみると、それまで気がつかなかった様々な街の魅力を発見できます。メンバー間での情報交換も、大切な学習の機会です。

❖メンバーによる活動成果は、「クラブ通信」や写真展によって、市民に発信されます。

## 詳細

○対象：市内在住、在勤、在学の16歳以上

○目的：まちの景観に関する情報の共有や意見交換を通じて、美しいまち並みづくりについて考えてもらう。

○内容・特徴：公募で集まった市民メンバーが、景観に関する各種の活動を行う。主な活動は、①市が主催するセミナーへの参加、②身近なまち並みに関する情報の収集・発信、③景観パネル展での活動内容の発表、の3つ。

### ○実施概要

- ・活動期間：メンバーの任期は1年間、活動は随時、セミナーは約2ヶ月に1回開催
- ・参加人数：約60人
- ・活動場所：市役所や公民館など、テーマにより市内各所で
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市広報誌、HP等で募集
- ・実施体制：セミナーは、内容に沿った専門家や市職員、メンバーの有志などが講師を務める
- ・教材等：セミナーでは、講演概要等の資料を配付



↑セミナーの様子



↑『まちなみ発見クラブ通信』

### ○各活動の概要（「第二期」（2006年9月～2007年8月）の例）

#### ・セミナー開催概要

回	日時	テーマ・内容
第1回	10月21日(土) 12:15～17:40	「西宮発見！-北部編-」：市域をバスと徒歩で散策し、まちの魅力を発見する
第2回	12月7日(木) 18:30～21:00	「まちの灯りを考える」：講演を聴き、駅前照明計画を見学する
第3回	2月22日(木) 14:00～16:30	「無電柱化のしくみと現状」：講演を聴き、共同溝や電柱を見学する
第4回	4月28日(土) 9:00～12:00	「夙川の魅力を探る」：夙川周辺を散策し、グループで景観特性図を作成する
第5回	6月29日(金) 13:30～16:10	「景観写真教室」：写真撮影のポイントを学び、屋外で写真撮影をし、作品紹介を行う



↑「景観パネル展」の様子

- ・会報『まちなみ発見クラブ通信』の発行：6回（発信情報やセミナーの結果について発信）
- ・景観パネル展の開催：「身近なまち」、「まちなかの自然」、「暮らしと歴史」などをテーマにメンバーが撮影した写真の展示（7月31日～8月12日に図書館で開催したほか、市内4ヶ所で巡回展示）

# 塗り替え実験により色彩の効果を実感！

No.40

建物の色がつくる美しい景観教室 神奈川県横須賀市



- ❖まち並みにおける色彩の重要性や、色彩による印象の違い等を体感できる「景観教室」。
- ❖参加者は、色彩の基礎的な知識や考え方を学んだ後に、実在する建物等を題材に色彩計画を立案します。可能な場合には、提案を元に塗り替え実験を行います。色彩計画の一連のプロセスを体験し、効果や影響を実感することで、色彩に対して高い意識を持った市民が育ちます。
- ❖活動成果を発表することで、市民がまち中の色彩に目を向けるきっかけにもなります。

## 詳細

○対象：市民及び市職員（定員 30 名）

○目的：色彩が景観に与える影響について学ぶ機会を提供することにより、市民が、社会環境としての建物の色彩計画に主体的に関わっていくきっかけを作る。

○内容：参加者は、色彩の表し方や、建物の色彩が景観に与える影響等についての講義を受けた後、グループに分かれて、実際の建物等を題材に色彩調査や色彩計画を行い、景観形成の考え方を学ぶ。可能な場合は、提案を元に塗り替え実験を行い、効果や影響を確認する。活動の様子は、後日、市役所の展示コーナーで紹介される。



講義の様子（左）、色彩調査の様子（右）

## ○実施概要

- ・ 日時：全 4 回開催、各回とも平日の午後
- ・ 場所：市役所会議室等
- ・ 参加費用：無料
- ・ 募集方法：①市広報誌で募集②市役所や市内の金融機関、市の都市景観協議会を通じて募集案内を配布③前年度教室修了生等に、ダイレクトメールを送付、の 3 通りの方法で参加者を募集。
- ・ 実施体制：市が「よこすか都市景観協議会」に実施を委託。色彩の専門家が講師を務める。

## ○各回のスケジュール（平成 14 年度の例）

時限	内容
第 1 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境色彩に関する講義（建物の色彩が景観に与える影響等）</li> <li>・ 色彩に関する講義（色彩の表し方等）</li> <li>・ 色彩調査の練習</li> </ul>
第 2 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塗装に関する講義（塗装の手順、塗料の種類等）</li> <li>・ 計画対象地の色彩調査</li> <li>・ 色彩調査の整理</li> </ul>
第 3 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象地の色彩計画づくり</li> </ul>
第 4 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成した色彩計画の発表</li> <li>・ 公共空間に面した色彩の考え方に関する講義</li> <li>・ 講評</li> </ul>

## ○過去の題材

年度	教材
平成 10	住宅
平成 11	塀
平成 12	住宅
平成 13	公園遊具
平成 14	マンション
平成 15	住宅地のまちなみ



平成 13 年度に塗り替え実験を行った公園遊具



作成した色彩計画（左）と講評（右）の様子

## 毎日の生活に彩りを添えるヒントが満載！

No.41

色彩と景観の関係を学ぶ「色彩講座」

長野県上田市



- ❖色彩が人の心理に与える影響や、景観における色彩の重要性等について学ぶ「色彩講座」。
- ❖参加者は、色彩に関する基礎知識を学んだ後に、実際にまちに出て、身近なまち並みで使われている色彩を調査します。講座では、毎日の生活や仕事にすぐに役立つヒントも学べ、色彩の効果や大切さをすぐに実感することができます。
- ❖楽しみながら色彩について学ぶうちに、景観形成に対する意識が育まれていきます。

### 詳細

○対象：市民（定員 20 名）

○目的：市民に、色彩に関する知識や、色使いが景観に与える影響について学んでもらうことにより、まち並み景観の向上に役立てる。

○内容・特徴：参加者は、講義や実習によって、色彩の基礎知識や、建物の色彩が景観に与える影響等について学んだ後に、実際にまちに出て、色彩調査等を行う。生活や仕事にも応用できる内容にすることで、楽しんで学べる工夫がされている。

### ○実施概要

- ・日時：6月から9月にかけて全7回の日程で開催
- ・場所：市中央公民館
- ・参加費用：2,800円（ただし、材料費・実費として）
- ・募集方法：市広報誌等で募集
- ・実施体制：色彩の専門家が講師を務める
- ・教材等：色見本や、色彩の基本情報、考え方等が記された資料を配布

### ○スケジュール（平成13年度の例）

回	開催日	内容
1	6/28（木）	色の見え方
2	7/12（木）	色の3属性（明度・彩度・色相）
3	7/26（木）	色彩の組み合わせ
4	8/9（木）	実習：トーンスケールの作成
5	8/23（木）	環境色彩と色彩心理
6	9/1（土）	カラータウンウォッチング（街並み検索）
7	9/8（土）	カラータウンウォッチングのまとめ・反省会

\*時間は、1～5回は午後7時から8時半、6～7回は午後1時半から4時半

### ○その他

- ・平成11年に、「講座修了後も継続して市の景観を考えていきたい」という受講生によって「ほーほの会」（上田市の景観を考えていく仲間の会）が結成され、自主的に、景観の勉強会やタウンウォッチング、花壇の植え替え活動、市の計画への提言等の活動に取り組んでいる。
- ・平成16年以降は、講師が理事長を務めるNPO法人が開催している。



色彩の基礎知識の学習



カラータウンウォッチング（上）と、まとめの発表（下）





- ❖行政職員や、景観に関連する業務に携わる人々を対象とした、色彩の基礎知識や環境色彩の考え方を学ぶ「環境色彩セミナー」。
- ❖参加者は、2日間のセミナーで、講義や演習を通じて色彩を科学的に理解していきます。これにより、「好き嫌い」ではなく、色彩を理論的に考え、判断できるようになります。
- ❖色彩に対する高い意識と、理論的な判断力を持った、行政職員や専門家が生まれるきっかけとなります。

## 詳細

- 対象：県・市町村職員、一般参加者（建築物や構造物の設計、屋外広告物等、景観に関連する業務に携わる人）
- 目的：景観の重要な要素の一つである色彩についての知識を習得してもらうことにより、優れた景観の形成に役立ててもらおう。

○内容・特徴：参加者は、2日間の日程で、講義や演習等を通じて色彩についての知識を習得する。1日目は「基礎編」として、色彩についての科学的な基礎知識を学ぶ。2日目は「環境色彩計画編」として、建築物や構造物等の環境色彩の考え方について学ぶ。

### ○実施概要

- ・日時：連続する2日間、延べ11時間程度
- ・場所：県庁内会議室等
- ・参加費用：県・市町村職員は無料、一般参加者は2,310円（ただし、テキスト代として）
- ・募集方法：県HP等で募集
- ・実施体制：色彩の専門家が講師を務める。
- ・教材等：講義ではパワーポイントやスライド等を使用する。その他、市販の本や、委託先作成のテキスト、JIS標準色票等を使用する。



演習での色相環作成の様子

### ○プログラム・スケジュール（平成18年度の例）

#### 【1日目：基礎編】

10:00～10:05	開会・挨拶
10:05～11:00	色彩の科学的基礎知識
11:00～12:00	視角のメカニズム
13:00～14:00	色の伝達方法、色彩のコミュニケーション方法
14:00～15:00	JIS規格での色の表記法
15:10～16:00	視覚効果・感情効果
16:00～17:00	色彩調和の原理と形式・カラーハーモニーの実際

#### 【2日目：環境色彩計画編】

10:00～11:00	色彩計画概論
11:00～12:00	色彩計画手法
13:00～14:00	環境色彩の良い事例・悪い事例
14:00～15:30	環境色彩による街並み、都市景観イメージ
15:30～16:00	質疑応答



色相環による「ナチュラルハーモニー」についての説明

# 3年間の講座で地域の景観づくりリーダーを養成！

No.50

地域景観づくりリーダー養成事業「景観人講座」 青森県



- ❖市民を対象に、地域の景観づくりのリーダーを養成する3年間の「景観人講座」。
- ❖参加者は、講義やフィールドワーク、ワークショップを通じて、景観についての基礎知識から実践のノウハウまでを学びます。3年目には、それまでの学習成果を踏まえて、各自の興味や関心に応じて調査・研究に取り組みます。
- ❖講座修了者は、地域の景観づくりを引っ張っていく人材として、活躍が期待されます。

## 詳細

○対象：景観に関心のある県民

○目的：地域の景観づくりは、住民が自らの行動と考えで進めていく時代であることから、地域の景観づくりのリーダーとして活躍できる人材(=「景観人(けいかんじん)」)の育成を目指す。

○内容・特徴：公募により集まったメンバーが、3年間にわたり、景観の基礎知識や景観づくりのノウハウ等を学ぶ。1、2年目は、景観の専門家を講師として、ワークショップや事例研究、現地視察等を行う。3年目は、参加者がテーマを設定し、研究に取り組む。最終回では、研究成果の発表会が開催された。

## ○実施概要

- ・日時：平成14年1月から平成16年2月にかけて全10回開催、全て土曜日又は日曜日
- ・場所：青森、弘前、八戸の3会場が設けられ、会場別研修と、全員が集まって行う集合研修の2本立てで行われた
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：県広報誌、HP等で募集
- ・実施体制：会場ごとに地元の大学教授等が講師を務める



講義の様子



調査研究の様子

## ○全体の流れ

第1～5回(平成14年1月～12月)

### 【景観の基礎知識の学習】

- 講義やワークショップ、フィールドワークで基礎知識を学ぶ(内容例)
- ・住民が主役の景観づくり
- ・景観人としてできること
- ・景観資源調査
- ・景観の色彩分析

第6～9回(平成15年2月～11月)

### 【テーマ別の調査研究】

- 絞り込んだ3テーマごとに、分科会で調査研究を進める(研究テーマ)
- ・ふるさと青森の景観改善案
- ・景観ガイドブック等作成
- ・現状のふるさと眺望点の調査・分析、新たな眺望点の発掘

第10回(平成16年2月)

### 【研究成果の発表会】

- 県民に発表を行う(発表テーマ)
- ・住民参加による景観づくり・まちづくり
- ・景観の楽しみ方
- ・ふるさと眺望点を掘り起こせ

# レベル別 3 コースの街づくり学校で学ぶ景観づくり！

No.51

街づくり学校 神奈川県大和市



❖講義やワークショップ、現地視察等により、街づくりの考え方や知識、技術を学ぶ「街づくり学校」。

❖レベルの異なる 3 つのコースが用意されており、参加者は、自分の興味や習熟度に応じて最適なものを選びます。また、景観だけでなく、様々なテーマで街づくりを学びます。

❖3 コース全ての修了者のうち希望者には、市の街づくり事業への参加や、街づくりに取り組む市民組織の活動支援が依頼されます。

## 詳細

○対象：市内在住、在勤、在学者（定員 30 名程度）

○目的：市民、事業者、行政のパートナーシップによる街づくりの実現を目指して、市民の自主的な街づくり活動に対して、学習への支援を行う。

○内容・特徴：講義やワークショップ、現地視察等により、街づくりの考え方や知識、技術を学ぶ講座。参加者のレベルに応じて、「基礎コース」、「専修コース」、「ゼミコース」の 3 コースが用意されている。各コースの内容は年度により異なり、住民参加や防災街づくり、街のルールづくり等、様々なテーマで講座が行われ、その中の一つに景観がある。

## ○実施概要

- ・ 日時：コースや年度により異なるが、土曜日を中心に開催
- ・ 場所：市役所等
- ・ 参加費用：無料
- ・ 募集方法：市広報誌、HP 等で募集
- ・ 実施体制：各回のテーマに沿った専門家が講師を務める
- ・ 教材等：色見本や講義内容のレジュメ等を配布

## ○景観に関連する講座（過去の実施例の一部）

- ・ 『「景観」を楽しく学ぼう』（基礎コース、平成 17 年 6 月）

回	内容
1	景観の基礎知識を学んだ後、周辺の景観を調査する
2	色彩の基礎知識を学んだ後、まちで使われている色を調査する

- ・ 『街並み景観づくりのコツを学ぼう』（専修コース、平成 17 年 11 月）

回	内容
1	ガイドラインづくりに必要な知識を学ぶ
2	色彩に関する基礎的な知識を学ぶ
3	実際のまちの模型を作りガイドライン案を策定する

## ○その他

- ・ 3 コース全てを修了すると、希望により「街づくりすと」に登録され、市の街づくり事業の企画運営への参加や、街づくり組織の支援を行うことができ、活動に対しては謝礼が支払われる。



街並みの現地調査の様子：看板や建物の大きさを測り、スケッチする（「景観」を楽しく学ぼう」より）



ガイドライン案検討の様子：街並みの模型を作成して検討する（「街並み景観づくりのコツを学ぼう」より）

# インターネットを利用したリーダー養成講座！

No.52

まちづくりリーダー養成講座 静岡県



- ❖インターネットを利用して、まちづくり活動のリーダーを養成する「まちづくりリーダー養成講座」。
- ❖受講者は、HP に掲載された講座テキストの自己学習と、現地研修を通じてレポートを作成し、まちづくりに関する基礎知識やスキルを身につけます。
- ❖インターネットを利用するため、居住地や時間による制約がなく、様々な人々の参加が期待されます。

## 詳細

- 対象：県内在住の15歳以上で、インターネット及びメールを利用でき、講座修了後は地域のまちづくりに積極的に活動する意欲のある人（定員100名程度）
- 目的：活気あるまちづくりの実現に向けて、まちづくりにおけるリーダーとなるべき人材を育成する。

○内容・特徴：受講生は、インターネットを利用して、HPに掲載された計8回の講座テキストを学習する。途中、2回の課題レポート提出と、3回開催される現地研修会の中の1回以上に参加し、レポート提出を行う。講座テキストの質疑応答や、受講者同士の交流は、HP内に設置される「電子会議室」を利用して行う。修了した受講生には、「まちづくりリーダー」の称号が授与され、講座の運営や、県市町における都市計画行政への協力が要請される。

## ○実施概要

- ・日時：開講期間は、5月から翌年3月まで。途中の現地研修会は、土日を利用して開催される。
- ・参加費用：無料（ただし、現地研修等の交通費と通信費用は自己負担）
- ・募集方法：県HP等で募集
- ・実施体制：講座の運営（テキスト作成、インターネットシステム構築、レポート評価等）は地元の大学に委託している。また、受講生募集の広報や、現地視察研修では、市町村が協力している。

## ○スケジュール（第6期[受講期間平成19年5月から平成20年3月]の例）

日程	講座内容	レポート等
19年5月	1. これからの都市計画と市民参加	懇談会
6月	2. 魅力ある中心街づくり	第1回レポート
8月	3. 住民参加ワークショップ	
9月	4. まちづくりと土地利用	第1回現地研修会
10月	5. まちづくりと公共交通	第2回現地研修会
11月		第3回現地研修会
12月	6. 土地区画整理によるまちづくり	
20年1月	7. 暮らしやすいまちづくり（地区計画とデザインコントロール）	第2回レポート
2月	8. まちづくりリーダーとは	
3月	修了式	修了証交付式



現地研修会の様子

## ○その他

- ・講座修了生の有志により、まちづくり組織が発足した。